

栗原桂一・春江夫妻の採集品に基づくコメツキムシ類の記録 (3)* — 沖縄本島 —

大平仁夫

〒 444-3511 岡崎市舞木町狐山 6-4

Some elaterid beetles collected by Mr. and Mrs. Kurihara from Japan (3)
— Okinawa-hontô Is. in the Ryukyu Islands —

Hitoo ÔHIRA

本稿では、沖縄本島において 2011 年 6 月に栗原桂一・春江夫妻が採集されたコメツキムシ 8 種を記録する。この中には、沖縄本島からの新分布記録種はないが、6 月の採集記録は少ないので、この地域の分布情報の充実に多少でも役立てば幸いである。

本文を草するにあたり、貴重な資料を提供いただいた栗原ご夫妻に心から感謝の意を表す。なお、ここに記録した標本は筆者が保管している。

種の記録

1. オキナワホソキコメツキ *Hayekpenthes pallidus okinawensis* Kishii, 1979 (図1B)

標本：1♀, 国頭村琉球大学演習林, 2-VI-2011, 栗原春江採集；1♂, 名護市稲嶺, 4-VI-2011, 栗原桂一採集。

Kishii (1979) が沖縄本島国頭村与那覇岳産の 1 雄個体に基づいて新亜種として記載したが、雌個体は未知であった。琉球列島産亜種については徳之島産と、石垣島・西表島産はそれぞれ別亜種とされている。

分布：沖縄本島。

2. サメハダキコメツキ *Xanthopenthes kohnoi* Nakane et Kishii, 1955 (図1C)

標本：1♂, 名護市多野岳, 6-VI-2011, 栗原春江採集。

琉球列島産の形態の概要は大平 (2000) が報告している。成虫は春から初夏に現れ、山林の花上で見出されることが多いが、灯火にも飛来する。

分布：トカラ列島 (宝島), 奄美諸島, 沖縄諸島。

3. アマミムネアカコメツキ *Ampedus (Ampedus) amamiensis* Ôhira, 1968

標本：1♂, 名護市稲嶺, 3-VI-2011, 栗原桂一採集。

体長は 7~8 mm で黒色, 体下面と前胸背板の一部または大部分が赤褐色を呈し, 触角は暗褐色で肢は黄褐色をした種である。成虫は春先に現れ, 主としてシイの花上で見出される。奄美大島では普通であるが, 沖縄本島では個体数が少ない。奄美大島産の成虫の形態は大平 (1999) が報告している。

分布：奄美大島, 徳之島, 沖縄本島。

4. アマミアラハダチャイロコメツキ *Reitterelater amamiensis* (Ôhira, 1968) (図1A)

標本：1♂, 名護市多野岳, 7-VI-2011, 栗原春江採集 (灯火)。

Ôhira (1968) が奄美大島から新種として記載した。体長は 7~8 mm, 体は栗色で光沢を有し, 触角と肢は橙褐色をした種である。ここでは主として北部山林帯で見出されているが, 灯火に飛来する以外の詳しい生態は判明していない。

分布：奄美大島, 徳之島, 沖縄本島。

5. タカハシクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) takahashii* Kishii, 1974 (図1D)

標本：1♂, 1♀, 名護市多野岳, 7-VI-2011, 栗原桂一採集 (灯火)。

体長は 13~14 mm. 体は触角と肢も含めて暗褐色, 体毛は黄褐色である。幼虫は土壌中に生息しており, 場所によって集団で生息し, 甘蔗の根茎に入り加害するといわれている。喜界島産の成虫の形態は大平 (1998) が報告している。

分布：奄美諸島~沖縄諸島。

6. クロヘリツヤコメツキ *Chiagosinus vittigerum fuscomarginatum* (Lewis, 1896)

標本：2♂♂, 国頭町琉球大学演習林, 2-VI-2011, 栗原春江採集；2♂♂, 5♀♀, 名護市稲嶺, 3-VI-2011, 栗原桂一採集。

琉球列島では奄美大島から八重山諸島にかけて

* (2) : さやばねニューシリーズ, (4): 17-18, 2011.

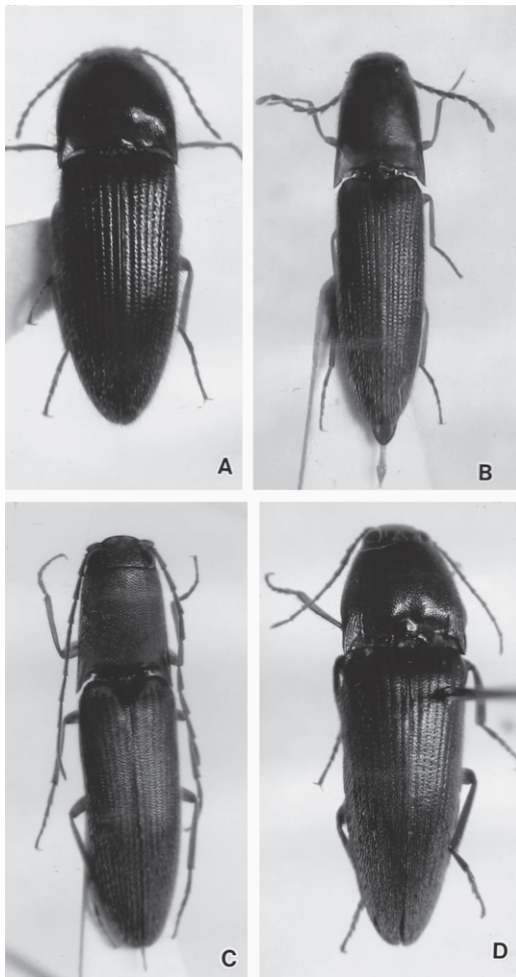


図1. A, アマミアラハダチャイロコメツキ, ♂ (体長8 mm); B, オキナワホソキコメツキ, ♀ (体長8 mm); C, オオサメハダキコメツキ, ♂ (体長13 mm); D, タカハシクシコメツキ, ♂ (体長15 mm) .

広く分布しているが、原名亜種は中国大陸から韓国にかけて分布している。成虫はイジユ(ツバキ科)やシラタマカヅラ(アカネ科)の花によく飛来する。

本属に含まれる台湾産の別種の幼虫は高野・柳原(1939)に記録されているが、土壤中に生息していて、そこに産卵されたバッタ類の卵塊を捕食するようである。本種の成虫の体の大きさが不揃いなのは、このような幼虫の食性が影響しているのではないかと思われる。琉球列島産の成虫の形態は、大平(1995)が報告している。

7. オキナワクチプトコメツキ *Parasilesis okinawensis okinawensis* (Miwa, 1928)

標本：18 exs., 名護市稲嶺, 3-VI-2011, 栗原桂一採集；3 exs., 名護市多野岳, 7-VI-2011, 栗原桂一採

集。

体長は7 mm 内外。体は黄褐色で、頭部と前胸背板の中央部が暗褐色をした種で、沖縄諸島から八重山諸島にかけて広く分布している。トカラ列島では中之島と沖永良部島産が、それぞれが別亜種とされている。幼虫は農耕地のやや湿った土壤中に生息しており、栽培植物など根茎に食い入るといわれている。

分布：沖縄諸島(沖縄本島, 伊江島, 瀬底島, 粟国島, 座間味島, 久米島, 渡嘉敷島), 八重山諸島(石垣島, 西表島)。

8. オキナワムネアカクチボソコメツキ *Glyphonyx okinawanus* Chûjô, 1959

標本：32 exs., 名護市稲嶺, 3-VI-2011, 栗原桂一採集；6 exs., 同上, 6-VI-2011, 栗原春江採集。

体長は6~7 mm。体は黒色で光沢を有し、前胸部の一部または大部分は赤褐色で触角と肢は黄褐色を呈する。成虫は花上で見出されることが多いが、灯火にも飛来する。奄美大島産の成虫の形態の概要は大平(1996)が報告している。

分布：奄美大島, 徳之島, 沖縄本島。

引用文献

- Kishii, T., 1979. Some new forms and records of Elateridae in Japan and its adjacent area. Some New Forms of Elateridae in Japan (XIV). *Kyoto-fu Shigaku Kenkyu-Ronsyu*, (17): 1-16, 5 pls.
- Ôhira, H., 1968. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, V. *Kontyû*, Tokyo, 36(2): 134-143.
- 大平仁夫, 1995. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (48). *北九州の昆虫*, 42(1): 47-48, 1 pl.
- 大平仁夫, 1996. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (56). *北九州の昆虫*, 43(2): 73-74, 1 pl.
- 大平仁夫, 1998. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (67). *北九州の昆虫*, 45(2): 105-106, 1 pl.
- 大平仁夫, 1999. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (72). *北九州の昆虫*, 46(1): 11-12, 1 pl.
- 大平仁夫, 2000. 琉球列島に分布するサメハダキコメツキについて. *New Entomol.*, 49(1, 2): 1-5, 1 pl.
- 高野秀三・柳原政之, 1939. 台湾甘蔗害益虫編：甘蔗の害虫並に有害動物に関する調査研究. *糖業試験所特別報告第2号*, 311 pp. 18 pls.

(2012年1月23日受領, 2012年3月5日受理)